

【参考：提出書類】

区分	書類
若者トライ型、 スタートアップ型	1 実績報告書 2 事業報告書 3 収支決算書 4 事業の収入・支出実績が確認できる領収書（費目ごとに整理しておいでください） 5 事業実施状況の分かるもの（写真、チラシ、その他資料など）

1 実績報告書（規則様式第5号）

東部地域振興事務所長
 中部総合事務所長
 西部総合事務所長
 西部総合事務所日野振興センター所長

〇〇〇〇 様

各事務所長（センター所長）宛としてください

令和〇〇年〇月〇日

提出日を記入してください。
 報告書は事業終了後20日以内に提出してください。

住 所
 申請者 氏 名
 （団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

記名、署名どちらでも可。押印を省略することができます。

令和〇〇年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動推進補助事業実績報告書

令和 年 月 日付第
 鳥取県補助金等交付規則第 条第1項の規定により、

号による交付決定に係る事業の実績について、
 下記のとおり報告します。

交付決定通知書の日付、番号を記入してください。

記

該当する補助金区分を記入してください。

補助事業等の名称	鳥取県ミラ・クル・とっとり運動推進補助事業（若者トライ型 又は スタートアップ型（スタート支援、ステップアップ支援））	
交 付 決 定	算定基準額	交付決定額
	250,000円	150,000円
実 績	245,000円	150,000円
差 引	▲5,000円	0円
添 付 書 類	収支決算書(様式第6号(第9条関係))に記載される算定基準額を記入ください。 1 事業報告書 2 収支決算書(に準ずる書類)	

左記算定基準額に各申請区分に応じた補助率をかけた金額又は補助限度額のうち、いずれか低い額を記載ください。

2 事業報告書（様式第5号）

(1) 事業の区分

該当の事業区分の口に✓を記入してください。

(2) 事業の名称

実施した事業の名称を記入してください。

(3) 事業の目的

事業を実施することで実現しようとしたこと、解決したかった地域課題を踏まえて記入してください。
(300字程度)

例) 活気のなくなった〇〇地域の活性化を図るため、商店街の空き店舗を活用したフリースペースを開設する。また、若者の県外流出を防ぐために高校生向けに大学生との交流会・相談会を開き、地域の魅力を再認識してもらうとともに、将来的に地元へ寄与したいという思いを醸成させるきっかけとすること。

(4) 実施体制

ア 誰が事業を実施し、どのような関係者と連携を行ったかを記入してください。

例)

この事業での役職	氏名	この事業での役割・業務
代表	〇〇〇〇	事前の準備・広報、当日運営

既に組織図等がある場合は添付いただき、「別添のとおり」と記入していただいても構いません。

イ 主要な構成員について、交付要綱別表2欄に定める基準に抵触していない場合は口に✓を記入してください。

【交付要綱別表2欄に定める基準】

- ・若者3名以上が中核となって構成されている団体。（法人格の有無を問わない。）
- ・「政治・宗教・特定の思想の普及に関わる者」「暴力団又は暴力団員等の統制下にある者」は対象外

(5) 事業結果

補助金を受けて実施した事業の内容を、「いつ、誰を対象に、どこで、何をどのように」実施したのかが明確に分かるように記入してください。実施された内容がわかるように、具体的に記載してください。

若者トライ型で、クラウドファンディングを活用して資金調達を行った場合は、その実施結果も記載してください。

既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみを記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

例) 事業実施期間：令和〇年〇月～〇月頃 計〇回
対象者：〇〇地区住民、〇〇地区近隣住民
参加人数：〇〇名（各回〇名）
開催場所：〇〇
事業概要：・商店街の空き店舗を活用し、老若男女問わず集えるフリースペースを開設した。
・高校生向けに大学生との交流会・相談会を開き、来場した地域の人との交流を深めてもらった。
・月に1回、〇〇大学のアカペラサークルによるライブを開催。
・施設内に農産物直売所を設置し、集客に努めた。
クラファン実施結果：目標金額 〇〇円、寄附総額 〇〇円、寄附人数 〇〇人

(6) 事業成果

事業を実施した結果どのような成果が得られたか、得られた成果の内容がわかるように、具体的に記載してください。

既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみを記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

例) ・高校生向けに大学生との交流会・相談会を●回開き、●人の参加があった。
・来場者にアンケートを取ったところ、●●、▲▲という感想が寄せられた。

(7) 今後の展望

来年度事業の予定・計画等があれば、記載してください。

(8) 他の補助金等の活用

本事業において活用した他の補助金、助成金等があれば、その名称及び助成元の団体名を記載してください。県の補助金を重複して利用していないかを確認するのが主な目的ですが、県の補助金以外であっても使用していれば記載してください。

例) 有 無
補助金等の名称：○○町補助金（ふるさと再生補助金）
事業内容：ふるさとを再生する新規または拡充する取組を補助対象とするもの
補助金等を所管している部署（団体）名：○○町

(9) 消費税の取扱い

該当する区分の□欄に✓を入れてください。

- ・一般課税事業者、仕入控除税額が明らかでない一般課税事業者
基準期間（前々事業年度）の課税売上高が1,000万円を超える事業者
- ・簡易課税事業者
課税事業者の中で前々年の課税売上高が5,000万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者
- ・免税事業者
基準期間（前々事業年度）の課税売上高が1,000万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が1,000万円以下の事業者
- ・特定収入割合が5%を超えている公益法人等

(10) 担当者連絡先

報告書の内容についての問合せや相談に対応いただける成人の方のお名前と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。

(11) 会計責任者連絡先

申請者が未成年の場合、補助金は法定代理人に支払うことを基本としますが、会計責任者を学校の課外活動を担当する教諭等が担う場合は、補助金の受領を教諭等に委任できるものとします。（法定代理人から委任状が必要）その場合は、教諭等の連絡先を記載してください。

申請者が成人の場合の会計責任者は、申請者でも申請者以外の成人の方でも構いません。

3 収支決算書（様式第6号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

【共通事項】

予算額：申請書に記載した金額を転記してください。

決算額：実際の収入及び支出を記載してください。

記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第6号（第9条関係）

令和〇〇年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動推進補助事業収支決算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	積算内訳
県補助金	150,000	150,000	ミラ・クル・とっとり運動推進補助金（若者トライ型）
自己資金	100,000	95,000	寄付金
参加費① （入場料、出展料等）			<ul style="list-style-type: none"> ・若者トライ型で、クラウドファンディングを活用して調達した資金は自己資金となります。 ・NPO 法人の賛助会費等、団体の活動全般に対する寄付（協賛金）や補助金は自己資金。当該事業を実施するための寄付（協賛金）や補助金はその他収入となります。
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕			
合計	250,000	245,000	

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	積算内訳	
補助対象経費	委託費	20,000	19,000	店舗ロゴデザイン料（業者に委託）
	使用料・賃借料	100,000	100,000	店舗使用料：10,000円×10ヵ月
	印刷製本費	3,000	2,000	チラシ A4コピー 10円×200枚=2,000円
	原材料費	25,000	24,000	イス・テーブル製作材料費：19,000円 塗料代：5,000円
	消耗品費	2,000	1,000	事務用品：1,000円
	光熱費	50,000	49,000	
	報償費	50,000	50,000	○大アカペラ謝礼5,000円×10回
	補助対象経費計③	250,000	245,000	
補助対象外経費	なし	0	0	なし
	補助対象外経費計	0	0	
合計	250,000	245,000		

※算定基準額＝補助対象経費③－（参加費①＋その他の収入②）＝ 245,000 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③245,000円－（参加費①0円＋その他の収入②0円）＝245,000円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

記載例2（参加費、その他の収入がある場合）

様式第6号（第9条関係）

令和〇〇年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動推進補助事業収支決算書

収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	積算内訳
県補助金	150,000	150,000	ミラ・クル・とっとり運動推進補助金（若者トライ型）
自己資金	63,000	35,000	自己負担
参加費① （入場料、出展料等）	2,000	10,000	○大アカペラチケット代 一人100円×100人=10,000円
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕	50,000	50,000	〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）50,000円
合 計	250,000	245,000	

事業実施で得た全ての収入について記載してください。他の補助金やイベント等での販売・入場料収入なども、見込額で記載してください。申請時よりも収入が増加した場合は、補助金額が減少する可能性があります。実際にあった収入は適切に報告してください。（後日、補助金の返還を求める場合があります。）

支出の部

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	積算内訳	
補助対象経費	委託費	20,000	19,000	店舗ロゴデザイン料（業者に委託）
	使用料・賃借料	100,000	100,000	店舗使用料：10,000円×10ヵ月
	印刷製本費	3,000	2,000	チラシ A4コピー 10円×200枚=2,000円
	原材料費	25,000	24,000	イス・テーブル製作材料費：19,000円 塗料代：5,000円
	消耗品費	2,000	1,000	事務用品：1,000円
	光熱費	50,000	49,000	
	報償費	50,000	50,000	○大アカペラ謝礼5,000円×10回
	補助対象経費計③	250,000	245,000	
補助対象外経費	なし	0	0	なし
	補助対象外経費計	0	0	
合 計	250,000	245,000		

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 185,000 円

記載例2における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③ 245,000円 - (参加費① 10,000円 + その他の収入② 50,000円) = 185,000円

※参加費、その他収入があるので減算します。

記載例3（補助対象外経費がある場合）

様式第6号（第9条関係）

令和〇〇年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動推進補助事業収支決算書

収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	積算内訳
県 補 助 金	150,000	150,000	ミラ・クル・とっとり運動推進補助金（若者トライ型）
自 己 資 金	63,000	50,000	自己負担
参 加 費 ① （入場料、出展料等）	2,000	10,000	○大アカペラチケット代 一人100円×100人=10,000円
その他の収入 ② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕	50,000	50,000	〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）50,000円
合 計	265,000	260,000	

支出の部

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	積算内訳	
補 助 対 象 経 費	委託費	20,000	19,000	店舗ロゴデザイン料(業者に委託)
	使用料・賃借料	100,000	100,000	店舗使用料:10,000円*10ヵ月
	印刷製本費	3,000	2,000	チラシ A4コピー 10円×200枚=2,000円
	原材料費	25,000	24,000	イス・テーブル製作材料費:19,000円 塗料代:5,000円
	消耗品費	2,000	1,000	事務用品:1,000円
	光熱費	50,000	49,000	
	報償費	50,000	50,000	○大アカペラ謝礼5,000円×10回
	補助対象経費 計 ③	250,000	245,000	
補 助 対 象 外 経 費	食糧費	12,000	12,000	スタッフ昼食代 800円×15名=12,000円
	交通費	3,000	3,000	スタッフ所有車両使用料
	補助対象外経費 計	15,000	15,000	
合 計	265,000	260,000		

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付(会議の茶菓、懇親会経費など)は対象外ですが、講師に提供する昼食等、必要最低限のものは対象となります。
○個人給付的な経費は対象外です。(講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費除く)

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 185,000 円

記載例3における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③245,000円 - (参加費①10,000円 + その他の収入②50,000円) = 185,000円

※補助対象外経費は含まずに算出します。